

【From Kobe 2020 秋 11 月 コロナ禍の中で】

2020. 11. 1.

コロナ禍の中で秋が猛烈なスピードで駆けつけてゆく 2020 秋 11 月 季節の便り届けます
愚痴は言うまい スクラム組んで笑顔で毎日を

●収録

収録 1 コロナ禍の中で見えてきたインターネット・通信にははびこる無責任

無責任な通信・SNS などの通信仲介業に仲介責任がとえないのか・・・

収録 2 政権交代一か月 新聞等を読んで もう老練政治家から若者へ政治をわたしては・・・
老練が負け惜しみで口にするパワーも知恵も・スピードもそれに裏付けられた判断・直観力も
若者はみんな持っている

コロナ禍の中で秋が猛烈なスピードで駆けつけてゆく 2020 秋 11 月 季節の便り届けます
愚痴は言うまい スクラム組んで笑顔で毎日を



街路樹が色付き始めた須磨妙法寺・名谷・高倉台ニュータウンの街で 2020.10月下旬



閉塞感漂う秋 薔薇の花とその香りに気分もリフレッシュ 明るくなりました

From Kobe コロナ禍の中で秋が猛烈なスピードで駆けてゆく 2020 11 月の始まり

by Mutsu Nakanishi 2020.11.1.



木枯らし1号と共にすっかり色付き始めた街 学園都市・総合運動公園の散歩道で 2020.10.末

いまだコロナ禍収束せず、先が見えず不安が募る毎日ですが、相変わらず勝手気ままな風来坊 2020 年秋 秋晴れの空に街路樹も色付きはじめ、里は秋桜・そして秋のバラが秋を彩る。秋の味覚も届き 里では秋の収穫に忙しい。コロナ禍の中 秋が猛烈なスピードで駆けてゆくでも、祭りの便りや賑わいもなくなんとなく物足りない 11 月色鮮やかな大輪のバラの香りに一機こりフレッシュ

もう木枯らし 1 号が吹いたという 2020 年秋 11 月の始まりです

先の暮らしに不安は募りますが、愚痴はいうまい スクラム組んで笑顔で毎日

政治は「AI・digital・改革・時代が変わる」と煽るが中身がない。現実に向き合わず、美辞麗句 決め文句は説明なき「自助努力」。理念も知恵もなき政治の空虚さに 未来への不安と行き場のない閉塞感に立ち尽くすコロナ禍の秋中身の無いスピードなんて 何の助けにもならずと つい強がり口から出る。

でも、良い悪いは別にして このコロナ禍から確実に社会は変わり、時代は変化するだろう。

高齢者にとってはますます募る先の不安 でも仲間さえいれば乗り切れる

年寄りの知恵がある 今まででもそうして、幾多の時代変化を乗り切ってきました。

愚痴は言うまい God be with You!! スクラム組んで笑顔で今を



政治や情報に振り回されず、わが身の健康と仲間感謝しつつ、毎日の時を刻む。

若者は生意気ぐらいがちょうどいい 年寄りとは……

自分のことばかりを言っておれないのですが、好奇心と気力さえあればと

「変えよう 変わろう でも変えてはならぬこともしっかりと」

また、コロナ禍の中での四季折々の新しい発見 好奇心いっぱいの Country Walk

とりとめもないことばかりですが、好奇心あり 気力は気持ちだけになりましたが、前向いて。

コロナ禍の中での四季折々の新しい発見 好奇心いっぱいの Country Walk

とりとめもないことばかりですが、気持ちだけは前向いて

こんなコロナ禍の過ごし方もある何かのお役に立てばと。 ありがとうございます

2020.11.1. From Kobe Mutsu Nakanishi

収録 1 コロナ禍の中で見えてきたインターネット・通信にははびこる無責任

無責任な通信・SNS などの通信仲介業に仲介責任がとえないのか・・・

収録 2 政権交代一か月 新聞等を読んで もう老練政治家から若者へ政治をわたしては・・・
老練が負け惜しみで口にする/パフーも知恵も・スピードもそれに裏付けられた判断・直観力も
若者はみんな持っている

収録 1 コロナ禍の中で見えてきたインターネット・通信にははびこる無責任

無責任な通信・SNS などの通信仲介業に仲介責任がとえないのか・・・

関西には下記のような巷で噂話を楽しむ空気がある。

「私 よう知らんけどな『 …… なんやて 』」

「ほう そうかいな」

「私に言うてもらっても困る。そやから よう知らんというたやん ごめん」

無責任やと思っても「しゃ～ないな」で済む

噂話の領域であれば、これで済むが、今の情報化社会ではこれで済まぬ時代に!! ご用心ください。

こんな噂話が前置きなしで、真実としてインターネット・SNS の世界で流布され、また、猛烈なスピードで拡散してゆく。それが今や社会や政治を動かす時代になってきた。

インターネット通販・広告 大量に送られてくるメール。なんせボタン一つで記事に同意とし、他の人に次から次へ回せる時代になっている。

無責任な噂話的な通信情報に閲覧側はまったく無防備。



いわゆるフェイクな情報が「真実」として乗ったために、知らぬ間に自己責任を背負わされ、また拡散に一役買うことになる。こんな事例が急増している。

コロナ禍の中でインターネットと接する機会が多くなり、これらの情報に惑わされる事例が数多く見えてきた。

苦々しく思うが、そんな事例に立ち向かう訴訟の事例が上記の新聞記事。

さあ どんな判例が出るのか 興味津々で眺めている。

何度も耳にするインターネットの SNS やポータルサイトなどの情報仲介サイトは「無責任にも、投稿された記事には すべて仲介では責任を負わないというのが基本姿勢。」

通販やサイトの紹介等々のビジネスがこんなに伸びている時代にてである。

カード詐欺や過大広告とその逆評価宣伝等々 訴訟が起こり始めたが、しっかり画定された判例はいまだなし。

引かなかったものの自己責任 犯罪とされた例もある。

流布側が意図的にブロガーを集めて、SNS やインターネットに流すビジネス会社が幾つもあると聞く。

もう SNS は噂話・フェイクニュースの一言で済まぬ。流布にはそれだけの責任を持たねばと

私は思っている。一方、そんな場を無責任に提供した側のほおかもりも許されぬのが常識と。

政治家やリーダーの放言も大阪のおばちゃんの噂話ではない。だんまりで無責任で逃げ去ることはできない。

そんなスタートになればとこの訴訟を注視している。

まだまだ 自己責任のみが強調される時代 あまりにものスピードに乗せられぬようご用心

老練が負け惜しみで口にするパワーも知恵も・スピードもそれに裏付けられた判断・直観力も若者はみんな持っている

2020. 11. 7. From Kobe
Mutsu Nakanishi



国民と向き合えぬ菅首相の所信演説
 菅政権が発足して1か月、所信表明演説がおこなわれたが・・・
 コロナ禍の中、激変する社会の中で、あまりにもほろが見える...

- 初の所信表明、菅政権、携帯値下げ急ピッチ
垂り換えに課題
- 人事で報復
菅首相の「新自由主義」に潜む恐怖
- 菅首相「50年までに脱炭素社会実現」宣言
学術会議に触れず
- 実務型で「夢」がない？
所信表明の単語分析で透けた本音
- 大事な説明を欠いている
- 説明しない菅政権
その先にある「日本政治の中国化」
- 同調圧力・集団主義 頂点同調
- 官邸、6年前から学術会議選考に関心
- 「志も理念もない人が増えた」
古賀、元自民幹事長が昨今の国会議員憂う

「進める」「取り組む」「目指す」に終始
 自らが指揮する姿勢が見えぬ強がりの表明
 人・モノ・カネ・組織・運営・指揮・
 そしてゴール 国民に響く結果の姿がない
 縦割り何一つ語らぬ今の会 頂点同調を求める日本の老練リーダーの姿そのものに見える
 新聞・インターネットのサーフィンからわたし流に拾いました
 学術会議問題 覆い隠す思惑か 2020.10.29. Mutsu Nakanishi

菅首相が所信表明演説で使用した単語と回数	単語	回数	安倍前首相が1月の施政方針演説で使用した単語と回数	単語	回数
進める	26	日本	24		
経済	19	世界	22		
改革	16	皆さん	21		
社会	16	時代	20		
実現	14	支援	19		
コロナ	12	進める	17		
取り組む	12	実現	16		
ウイルス	11	我が国	14		
地方	11	新しい	14		
対策	10	世代	14		
方々	10	安全	13		
デジタル	9	強化	13		
企業	9	地域	13		
行なう	9	企業	12		
新型	9	今	12		
世界	9	地方	12		
全て	9	目指す	12		
目指す	9	拡大	11		
		更に行う	11		
		国	11		

11月1日神戸新聞の朝刊にはこんなコラムが掲載されていました。

正平調
 メモの日付は「4月23日」。耳にした感染症専門家の話が分かりやすかった。ので、書きとめた。「収束までの道のりで、今はどのあたりか？」と問われ、野球にたとえて答えていた。◆「まだ一回裏です。一回表はウイルスの攻撃だった。その戦力を分析し、弱点を見つければ、反撃に入れた一回裏です」。さらに続けて、「ただし試合は九回まであります」。◆4月23日といえば、新型コロナウイルスの感染が急速に広がり、政府が緊急事態宣言を出した2週間ほど後だ。街を行く人は減り、シャッターだけが目についた。重苦しいあのころが一回裏なら、今は何回の攻防だろう。国内感染者が10万人を超えた。◆秋が深まる北の国から、クラスターと呼ばれる感染者集団の報が伝わる。寒くなると部屋を閉め切って換気が悪くなる。それが大敵、という指摘も聞く。感染再拡大におびえる欧州の姿は決して遠い世界ではない。◆政府の取り組みを検証した「コロナ民間臨調」の報告が忘れられない。死亡率などは抑えられた。しかし「場当たり的な判断の積み重ねだった」。そして「今後も危機管理がうまくいく保証はない」と断じた。◆手洗い、マスク、3密の回避。選手は一生懸命なのに、ベンチの指示が的外れでは勝てる試合だって勝てない。 2020.11.1

2020. 11. 1. 神戸新聞朝刊より

予期せぬあまりの事態変化についてゆけぬ今の政治 経験則が通用せず、
 すり寄る官僚たちに丸投げの任せきり。任せきり。さあどう見ればよいのか・・・・・・
 おりしも 11月1日 大阪では大阪市解体の「都」構想を問う住民投票が行われている。
 大阪のひとたちはどう 判断するのでしょうか・・・・・・

**コロナ禍のなかで またぶつぶつ勝手なことをほざいています。
 愚痴は言うまい 仲間さえいれば!! 何はともあれ、元気に今を!!**
 2020. 11. 1. from Kobe Mutsu Nakanishi